



かけはし

Vol. 16
2020年4月

神奈川県議会議員
石川たくみ活動報告

すべては三浦のために

新型コロナウイルスに打ち勝とう!

昭和48年(1973年)生

- 1996年 早稲田大学教育学部 卒業
- 1996年 凸版印刷株式会社 入社
- 2001年 有限会社丸石製作所 入社
- 2011年 (公社)三浦青年会講師 第50代理事長
- 2013年 三浦市議会議員(一期)
- 2015年 神奈川県議会議員 初当選
- 2019年 二期目当選

所属: コミュニティ再生特別委員会 副委員長
国際文化観光スポーツ常任委員会
かながわ自民党青年総局幹事長

①三浦市金田太々久保土地改良区と三浦市農協、県が連携した「三浦半島収穫体験農園」②神奈川県議会文化芸術振興議員連盟がチャッキラコを視察③無料化を記念して実施された城ヶ島のライトアップ④かながわ自民党青年局・学生部で台風19号被災地相模原市緑区の現地視察⑤神奈川県水難救済会 東部地区水難救助訓練が三崎漁港で開催、祝辞を述べさせて頂きました。⑥遠洋鮪はえ縄漁船第十八事代丸出港をお見送り⑦みうら学・海洋教育研究所主催「海洋教育子どもサミット in みうら」⑧環境大臣で小泉進次郎環境大臣との勉強会を実施⑨昨年度はコミュニティ再生特別委員会副委員長を務めました。⑩三浦海岸桜まつりで三浦の河津桜を題材にした紙芝居「みうらのさくらのものがたり」を披露⑪安房埼灯台が城ヶ島公園にデザイン灯台としてリニューアルされました。⑫宮川公園の風車「三浦宮川風力発電所」が間もなく稼働⑬写真中央は三浦出身の元プロ野球選手石井昭男氏、左に篠田和也商工会議所副会頭

新型コロナウイルス感染症対策

36億3000万円の補正予算で感染症対策へ

政府は4月7日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を初めて発令すると同時に、108兆円の経済対策を打ち出しました。外出自粛要請等国民に多くの御負担を頂く措置を取ることで、感染拡大のスピードを抑制し、医療崩壊や都市機能の停止といった事態を回避しようとしています。本県としても、県民の皆様に様々なご不便をおかけしており、ご協力をお願いしております。

神奈川県は、宣言を受けてただちに法律に基づき、外出自粛を要請しました。また、新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部会議において、消費低迷や県民のストレスへの対応する部署「緊急経済・社会対策部」を新設し、新型コロナウイルス関連で失業や内定を取り消された人たちを、県が任期付き職員として100人雇用する方向です。8月末までの県主催イベントについては、中止することとしました。イベント準備にあたってきた全職員を新型コロナウイルス対策に振り向けます。

県議会第一回定例会では、新型コロナウイルス感染拡大への緊急対応が審議され、令和元年度・二年度一般会計補正予算案として新たに計36億3000万円が計上されました。補正予算では、児童福祉施設・介護施設へのマスクの配布や障がい者施設等のマスク購入・消毒の補助に約1億円。介護施設、障がい者支援施設の個室化の補助に約4億4千万円。簡易陰圧装置やリアルタイムPCR装置などの整備、医療機関等患者の受入体制の整備に約6億6千万円。学校の臨時休業に伴う支援として生活福祉資金貸付事業費補助に約14億4千万円。放課後等デイサービス支援に約5億円。中小企業への支援として信用保証料に対する補助の拡充に約3億円など喫緊に求められた費用等が計上されています。オーバーシュートに備え、複数の病院を「重点医療機関」に指定し、感染患者を集中的に受け入れることで、医療崩壊を防ぐための全国初の取り組みも進めています。

私たちは、皆さんの声によってつづられます。県政に皆さんの声をお届けします。 FAX: 046 (876) 8708

三浦への思いやご意見を書いて上記 FAX 番号まで送信下さい!

氏名: _____ 住所: _____ 電話: _____

(→次のページへ)

さらに県では、専用電話相談窓口を設けているほかLINE公式アカウントでパーソナルサポートを行っています。友だち登録をして、体調や年齢、持病などを入力することで、一人ひとりに合った情報を提供していますのでご活用ください。

一日も早く流行が終息し、皆さまが安心して生活できる日常に戻れるよう、県議会として全力で施策に取り組むとともに、県民の皆様におかれましては、咳エチケットや手洗い、不要不急の外出自粛等、政府や自治体の要請する感染対策へのご理解ご協力をお願いします。

新型コロナ感染症に関する相談窓口について

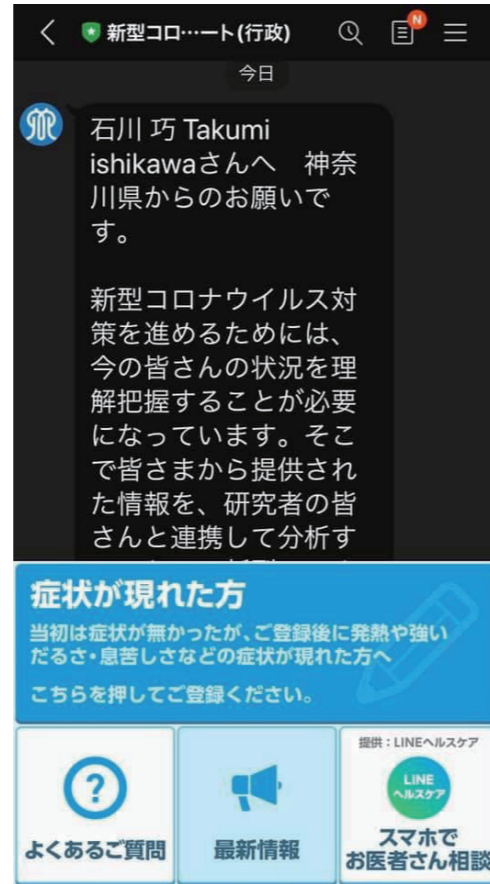
神奈川県は、新型コロナ感染症に関する相談に対応するため、専用ダイヤルを開設しています。

○症状のある方「帰国者・接触者相談センター」
感染の疑いのある方を、診療体制の整った医療機関に確実につなぎ、受診につなげるため、電話相談を行っています。三浦市にお住まいの方の連絡先は「鎌倉保健福祉事務所三崎センター」です。平日夜間・休日は、神奈川県庁となります。

平日(8時30分～17時15分)
鎌倉保健福祉事務所三崎センター
☎046-882-6811
平日夜間 神奈川県庁内
☎045-285-1015

LINE公式アカウント「新型コロナ対策パーソナルサポート」

神奈川県のLINE公式アカウントと友だちになり、あなたの状態を入力いただくことで、あなたの状態に合わせた、新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。



神奈川県議会 令和2年第一回定例会

風水害対策に手厚く予算化

2月12日から3月25日まで神奈川県議会令和2年第一回定例会が開かれました。総額1兆9035億円の令和二年度一般会計当初予算案はじめ諸議案が可決されました。来年度予算はいうなれば気候非常事態予算、昨年の台風15号・19号により被害が相次いだことを重く見て、県は2月に「かながわ気象非常事態宣言」を発表し、それに基づいて風水害対策費約400億円を充当しています。対策費のなかには、ハード面として三崎漁港の防災機能強化や三浦海岸の防潮機能回復養浜工事、市町村地域防災力強化の補助金、避難所やブルーシートなどの資機材整備費等が盛り込まれています。



「三浦半島魅力最大化プロジェクト」で観光・移住定住施策を強化

観光核づくり推進費補助に3000万円を計上

令和二年度一般会計予算観光分野では、横浜・鎌倉・箱根に次ぐ第四の国際観光地創出をめざした新たな観光の核づくり事業から派生した「観光の核づくり推進費補助」に3000万円を計上しました。城ヶ島・三崎、大山、大磯の3地域に六年間で3億4000万円超が充てられた核づくり事業交付金は、昨年度で時限を迎えました。

今回の補助は、これまでの事業によって発掘・磨き上げが行われてきた観光資源のさらなる活用を図るため地域と民間事業者が連携した主体的な取り組みを県が後押しするものです。観光で稼ぐ力をつけ、持続

可能な国際観光地を作り上げることが目的で、総事業費の2分の1を補助します。城ヶ島・三崎地域の対象事業例は、国家戦略特区となった三崎二町谷地区の一部のスーパーヨット誘致構想整備等に活用予定です。私はこれまで一般質問や常任委員会で継続支援を求めてきましたが、2月27日の国際文化観光・スポーツ常任委員会の質問なかで改めて東京五輪以後を見据え、プロモーションや他地域への横展開を含め、これまでの流れを断ち切らずに地域と連携したより一層の支援を要望したところです。

城ヶ島大橋の渡橋料金無料化が施行

料金所やゲートは撤去へ

令和2年4月1日、城ヶ島大橋渡橋料の無料化がスタートしました。開通60周年(1960年)の節目に三浦市民の永年の悲願が実現できたこと、大変喜ばしく思っています。

地元の皆様のご尽力に深く感謝を申し上げます。料金所やゲート等の施設は、今年秋までに撤去予定となっています。

無料化に伴う回数券等の払戻しにつきましては、令和3年3月末までの期限となりますのでご注意ください。

※お問い合わせ先は下記の通りとなります。
神奈川県 東部漁港事務所漁港課

☎046-882-1232



県議会での提案が政策実現!

外国人観光客受け入れ環境整備に補助制度、三浦市でも活用

過去二回にわたって県議会一般質問で要望してきました外国人観光客の受け入れ環境整備について、いよいよ政策が実現し、三浦市でも補助制度が活用されました。

平成29年度から開始されました「外国人観光客受入環境整備事業補助金」は、外国語表記による観光案内板の設置など、外国人観光客の県内の観光資源周遊に役立つための受入環境の整備を促進することによって、満足

度の向上やリピーターの確保を図り、外国人観光客の一層の増加につなげていくことを目的としています。

三浦市内でもこの補助金を利用し、三崎銀座通り、入船すずらん通り、日の出通りの商店街の無料Wi-Fi設置、またうらりマルシェにおけるトイレの洋式化、さらに油壺マリンパークの外国語表記ウェブサイト整備にも活用されました。